

令和2年度 学校自己評価システムシート（武南中学校）

(A3判横)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	1 日々の学習に支えられた豊かな教養の育成 2 きめ細かな躰・生活指導による優れた人格の育成 3 グローバルリーダーとして必要な人間性と知性の育成
--------	---

重点目標	1 授業の充実・改善 2 開かれた学校づくり 3 進んで行うことができる自主性と学力の向上 4 生活指導の徹底 5 部活動・学校行事等の充実・振興
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

(書面による評価) 出席者 学校関係者 5名

学校自己評価						学校関係者評価		
年度目標						実施日 令和3年2月26日		
年 度	目 標	年度評価 (2月25日 現在)				学校関係者からの意見・要望・評価等		
年 度	目 標	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	
1	授業の充実・改善	1 基礎力 (1,2年) を身に つけさせた上での応用力 (3年) の指導 2 生徒の実態を把握し効果的な先取り教育の実施 3 総学と探求 4 生徒の興味関心を引き出し、伸ばすための授業方法の研究 5 道徳授業の充実を図り規範意識を高める	1-①教員の資質能力向上を図る研修の実施 2-①先取り教育を実施する 3-①6年間を見通した接続の確立 4-①教室訪問・授業参観を行い、よりよい学級づくり授業づくりに取り組む校風を醸成する ②英語教育の充実発展 5-①教科としての「道徳」という意識を持たせる	○授業観察シートを活用した個別指導をさらに充実させる ○6年間のカリキュラムの作成 ○「授業力」自己診断シートに基づく自己分析並びに他者からの助言 ○英会話の充実を図るためコミュニケーション英語、UCDアカデミック英語Basic・Advancedの導入 ○学力推移調査の結果分析 ○道徳の研究授業を行う	・最低午前1回、午後1回は校内を巡回し、授業の参観を行い気づいた点等指導している ・6年間のシラバスが完成していない教科がある。 ・「授業力」自己診断シートの活用が少ない。 ・結果分析をきちんと行い自学習の奨励や自習室の活用を促した ・道徳の研究授業を実施できなかった	B	・授業観察シートを活用した個別指導をさらに充実させる ・教員相互の授業研究を進め、授業実施上の課題等を共有し各自の指導力を高める ・他校の授業を参観させる。 ・英会話の充実を図るためのコミュニケーション英語、UCDアカデミック英語Basic・Advancedの継続 ・BASL (Bunan Advanced Self Learning) の時間を確保し、生徒の振り返り力を伸ばし学力の向上を図る	・授業観察シートのさらなる活用 ・個性を生かした指導力の向上 ・他校の授業を参観し更なる指導力の向上 ・楽しく学べる英語教育に期待する ・生徒一人ひとりが意欲のわく授業を展開することができることが大事 ・どんな時に生徒の理解度が向上するのか教職員で共有すること
2	開かれた学校づくり	1 学校説明会・学校公開・入試体験会等々による教育活動の公開 2 近隣小学校との交流活動の拡充 3 組織による通年の生徒募集活動 4 教育活動の情報発信	1-①参加者増を図るため保護者等関係者に周知する 1-②保護者対象の講座を実施 2-①小学生対象にした公開講座の実施 3-①川口・蔵・戸田・さいたま市を中心に行う 3-②日本棋院との連携 4-①HPの更新を週3回は行う	○興味関心を抱く広報を周知し学校説明会学校公開等の実施 ○月1回の中学校便りを蔵市教育委員会・市内小中学校・市内公民館に配布 ○生徒による小学生の指導 ○広報を中心とした募集活動 ○学年・クラス通信の発行とHP発信でのHP更新	・説明会参加者及び受験者は昨年度より倍増した。入学者も増加し、新1年生は51人で2クラスとなる ・毎月の中学校便りは欠かさずことなく配布している ・小学校との交流はコロナの関係でできていない ・HPやポータルを更新をこまめに行った	B	・広報活動がいざわたり説明会等の参加者が倍増したので、あらたな手立てを模索する (説明会では参加者と本校生徒との話し合いを実施する等々) ・管理職による塾訪問の回数を増やす ・HPの更新が充実してきたので、来年度も継続する ・小学生対象の各種体験会を実施する	・入学者の増加は高く評価する ・HPのこまめな更新を評価する ・日本棋院との連携も期待している ・コロナ禍でも様々な方法で情報を発信できたと思う
3	進んで行うことができる自主性と学力の向上	1 学習時間の確保を学校全体で取り組む 2 朝読書・BASLを確実に行う 3 予習・復習を計画的に行い学力向上を目指す 4 基礎学力を身に付けさせるための授業時間確保 5 英会話の充実	1-①小さな時間を積み上げて確保させる (スタディサブリの活用) 2-①生徒だけでなく学校全体で朝読書を行う 2-②BASLの時間を確実に確保し一日の反省と明日への準備をさせる 3-①長期休業中に実施する講習は、現状分析を行い学力向上を図る 4-①予習・復習の奨励と学習時間の確保 5-①英会話の目を設ける	○学校での学習、家庭学習を積み上げて学習時間を確保 ○日常的に中学での学習 (量、スピード、質) を指導する ○スタディサブリの活用 ○生徒による規範意識向上の取り組み ○自習室の使用度	・早朝の自学習等々、小さな時間の積み上げが大切であることを全教職員で指導している (スタディサブリの活用) ・HR合宿、学習合宿等コロナ関係で実施できなかった。 ・Englishキャンプは実施した ・2年のアジア研修もコロナ関係で来年度に延期 ・担任から自習室を積極的に活用するよう指導した	B	・中学生として学習の量と質を確実に身につけさせる ・家庭学習をはじめ学年+1時間の自学習を毎日行わせる ・高校進級時の進級テスト (併1の入試問題) で好成绩を取るようさせる ・放課後の自学習を支援させる ・通常講習を充実させる	・英語教育が課題。英会話を興味を持って楽しく学べるよう工夫充実させてほしい ・早朝自習、家庭学習等の工夫と充実に取り組んで欲しい ・学校、教師、生徒、保護者が目標を共有し、具体的な取り組みを如何に行うかわかりやすいロードマップのようなものを作ってはどうか
4	生活指導の徹底	1 生徒の課題を把握して問題行動の予防に努める 2 凡事徹底により、規範意識を高める 3 挨拶の励行	1-①教職員の共通認識による攻めの生徒指導を徹底する 2-①授業に取組む意識の向上を図る 2-②時間を守る・服装を正す等々繰返し指導を行う 3-①挨拶をすることにより、自己の存在をアピールさせる	○登下校の指導を行う ○個々の教師に負担がかからないよう問題を共有し学校全体で取り組む ○挨拶が届けられるよう教職員が率先で行う ○凡事徹底を教職員が率先垂範する	・教師の協体制が構築できてきた ・毎週金曜日に行う中学校の会議で報告連絡等滞りのないよう実施した ・凡事徹底を教職員が率先垂範するよう指導している ・生徒指導上の保護者対応については管理職も積極的に参加	B	・凡事徹底を強化し、生活規律・学習規律を高める ・事後処理の指導ではなく攻めの生徒指導を行うようにさせる ・清掃指導等の徹底	・凡事徹底の強化継続により武南生としての誇りを持つ ・校外での生徒の対応力に感心した ・教職員の率先垂範の姿勢に期待する ・来年度は生徒数が増加するので、生徒一人ひとりに目が行き届くようにするにはどうしたらよいか検討
5	部活動・学校行事等の充実・振興	1 部活動の時間の確保 2 委員会活動を奨励して自治意識を育てる 3 生徒の意識を高める学校	1-①活動時間を確実に確保する 2-①協力することにより個々を磨く場とする 2-②地域に貢献できる生徒会活動 2-③高校生の規範意識を学ぶ 3-①生徒会活動の充実	○優れた活動・成績をあげた生徒を顕彰する ○クリーングリーン作戦を学期に1回実施する ○高校生との活動を実施し母校愛を育てる	・協力してくれる高校の部活動が増えた ・朝礼等の時間に各種の賞に輝いた生徒を全校の前で顕彰している ・クリーン作戦はコロナ関係で実施できなかった	B	・高校生と共に活動できる部活動を増やす ・各委員会活動を活性化し生徒による自発ができるよう生徒会を指導する ・今年度延期となったパラリンピックを全校生徒で観戦する	・高校生と共に部活動ができることは心身ともに成長できると思う。更に充実させてほしい ・一人でも多くの生徒を顕彰する ・褒めて伸ばす教育が大事 ・現在の活動は概ね成功しているの で、来年度もよろしく